

法学専攻（修士課程）

(1) 授業科目表

法学研究科法学専攻修士課程における授業科目（講義、演習）と単位数は、次のとおりとする。
講義及び演習は、1週1時間15週の授業をもって1単位とする。

(A)と(B)に分かれている科目は前期2単位と後期2単位で構成され、通年で履修することを基本とする。

研究演習（専修科目）は、1～2年次にわたって履修する。

それぞれの年次において、前期2単位と後期2単位で構成され、合計単位数が8単位となる。

講義科目は、1・2年次に履修する。

科目群	授業科目名	担当者名	単位数	
企業 関係 法科 目群	企業法研究 (A)	※ 美濃羽 正 康	2	
	企業法研究 (B)		2	
	民法研究 (A)	早 川 結 人	2	
	民法研究 (B)		2	
	知的財産法研究 (A)	—	2	
	知的財産法研究 (B)		2	
	経済法研究 (A)	※ 高 橋 省 三	2	
	経済法研究 (B)		2	
	家族法研究	近 藤 久 雄	2	
	民事訴訟法研究	張 瑞 輝	2	
	労働法研究 (A)	※ 榊 原 嘉 明	2	
公 法 関 係 科 目 群	憲法研究 (A)	※ 水 島 玲 央	2	
	憲法研究 (B)		2	
	租税法研究Ⅱ (A)	※ 関 岡 誠 一	2	
	租税法研究Ⅱ (B)		2	
	租税法研究Ⅲ (A)	※ 宮 崎 清 幸	2	
	租税法研究Ⅲ (B)	※ 山 田 麻 未	2	
	刑事法研究 (A)	遠 山 圭 一	2	
	刑事法研究 (B)		2	
	国際法研究 (A)	※ ウミリデノブ・アリシエル	2	
	国際法研究 (B)		2	
	国際経済法研究 (A)	※ ウミリデノブ・アリシエル	2	
	国際経済法研究 (B)		2	
	国際政治学研究 (A)	—	2	
	国際政治学研究 (B)		2	
	目 群	行政法研究 (A)	※ 市 橋 克 哉	2
		行政法研究 (B)		2
		情報法研究	萩 原 聡 央	2
租税法基礎研究		※ 服 部 由 美	2	
国際租税法研究		※ 奥 川 哲 也	2	
組織再編税制研究		※ 村 上 正 城	2	

科目群	授業科目名	担当者名	単位数
公法関係科目群	法人税法研究	岸 野 悦 朗	2
	所得税法研究	※ 金 森 文 質	2
	資産税法研究	浅 野 洋	2
	消費税法研究	大 脇 光 明	2
	租税争訟法研究	—	2
	アジア法研究	※ 佐 藤 直 史	2
実習科目群	インターンシップ (A)	指 導 教 員	2
	インターンシップ (B)		2
研究演習科目群	企業法研究	※ 美濃羽 正 康	8
	知的財産法研究	—	8
	経済法研究	※ 高 橋 省 三	8
	労働法研究	※ 柳 原 嘉 明	8
	民法研究	※ 濱 口 弘 太 郎	8
	租税法研究	※ 関 岡 誠 一	8
		※ 宮 崎 清 幸	8
		※ 山 田 麻 未	8
		※ 奥 川 哲 也	8
		※ 金 森 文 質	8
		※ 服 部 由 美	8
		※ 松 井 幹 夫	8
		※ 村 上 正 城	8
	国際法研究	※ 鈴 木 智 登 志	8
		※ 富 岡 仁	8
	※ ウミリデノブ・アリシエル	8	
行政法研究	※ 市 橋 克 哉	8	
アジア法研究	※ 佐 藤 直 史	8	

※専修科目担当者

(2) 履修方法

- 1) 研究演習科目のうち1科目を専修科目として必ず修得しなければならない。
- 2) 研究演習科目を担当する教員を「指導教員」とし、講義科目の選択、論文の作成、研究一般についての指導を受ける。
- 3) 修士課程の修了の要件
 - ① 修士の学位は、修士課程に原則として2年以上在学して、授業科目について30単位以上を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与する。その30単位の履修方法は次のとおりとする。

学年	科目	研究演習 (必修)	講 義
1・2年次		8単位	22単位以上

会計学専攻（博士前期課程）

(1) 授業科目表

会計学研究科会計学専攻博士前期課程における授業科目（講義、演習）と単位数は、次のとおりとする。

講義及び演習は、1週1時間15週の授業をもって1単位とする。

(A)と(B)に分かれている科目は前期2単位と後期2単位で構成され、通年で履修することを基本とする。

会計学研究科（専修科目）は、1～2年次にわたって履修する。

それぞれの年次において、前期2単位と後期2単位で構成され、合計単位数が8単位となる。

講義科目は、1・2年次に履修する。

科目群	授業科目名	担当者名	単位数
基 幹 科 目	財務会計論研究 (A)	※ 佐藤 豊和	2
	財務会計論研究 (B)		2
	管理会計論研究 (A)	中垣 昇	2
	管理会計論研究 (B)		2
	現代会計論研究 (A)	※ 荒鹿 善之	2
	現代会計論研究 (B)		2
	税務会計研究 (A)	永田 千香	2
	税務会計研究 (B)		2
	企業法会計論研究 (A)	※ 佐藤 敏昭	2
	企業法会計論研究 (B)		2
企業法研究 (A)	開講せず	2	
企業法研究 (B)		2	
展 開 科 目	管理会計特殊研究 (A)	宮城 厚志	2
	管理会計特殊研究 (B)		2
	財務諸表論特殊研究 (A)	開講せず	2
	財務諸表論特殊研究 (B)		2
	監査論特殊研究 (A)	友杉 芳正	2
	監査論特殊研究 (B)		2
	監査役監査論特殊研究	佐藤 敏昭	2
	企業会計法特殊研究	尾崎 安央	2
財政学研究 (A)	開講せず	2	
財政学研究 (B)		2	
関 連 科 目	経営財務論研究 (A)	中垣 昇	2
	経営財務論研究 (B)		2
	金融論研究 (A)	※ 羽田 徹也	2
	金融論研究 (B)		2
	経営戦略論研究 (A)	※ 松井 義司	2
	経営戦略論研究 (B)		2
	国際経済論研究 (A)	※ 牛山 隆一	2
	国際経済論研究 (B)		2
	中小企業論研究 (A)	開講せず	2
	中小企業論研究 (B)		2
	証券市場論研究 (A)	野村 重明	2
	証券市場論研究 (B)		2
	起業論研究 (A)	開講せず	2
	起業論研究 (B)		2
	経済政策論研究 (A)	※ 酒井 愛	2
	経済政策論研究 (B)		2
	労使関係論研究 (A)	※ 木村 牧郎	2
	労使関係論研究 (B)		2
アジア経済論研究 (A)	※ ブ・ティ・ビック・リエン	2	
アジア経済論研究 (B)		2	
研究演習科目	会計学特別研究	専修科目担当者	8
実 習 科 目	インターシップ (A)	指導教員	2
	インターシップ (B)		2

※専修科目担当者

会計学専攻（博士後期課程）

(1) 授業科目表

会計学研究科会計学専攻博士後期課程における授業科目は、次のとおりとする。

会計学特別研究（専修科目）は、1～3年次にわたって履修する。

講義科目は、1・2・3年次に履修する。

科目区分	授業科目名	担当者名	単位数
専門 基幹 科目	国際財務会計研究	開 講 せ ず	2
	財務諸表論研究	開 講 せ ず	2
	管理会計研究	中 垣 昇	2
	税務会計研究	開 講 せ ず	2
	企業法研究	開 講 せ ず	2
専門 展 開 科 目	会計学原理	開 講 せ ず	2
	財務会計理論研究	開 講 せ ず	2
	監査研究	友 杉 芳 正	2
	企業法会計研究	※ 佐 藤 敏 昭	2
	財政学研究	開 講 せ ず	2
	租税法研究	開 講 せ ず	2
専 門 応 用 科 目	経営財務論研究	中 垣 昇	2
	金融論研究	※ 羽 田 徹 也	2
	経営管理論研究	開 講 せ ず	2
	経営戦略論研究	※ 松 井 義 司	2
	国際経済論研究	※ 牛 山 隆 一	2
	起業論研究	開 講 せ ず	2
	経済政策論研究	※ 酒 井 愛	2
	労使関係論研究	※ 木 村 牧 郎	2
アジア経済論研究	※ ブ・ティ・ビック・リエン	2	
研究演習科目	会計学特別研究	専修科目担当者	12

※専修科目担当者

修了要件: 会計学特別研究（研究指導を含む。）12単位を含む20単位を修得するとともに、所定の研究指導を受け、博士論文を提出後、試験に合格すること。

学年	科目	研究演習（必修）	講 義
	1・2・3年次	12単位	8単位

(2) 履修方法

- 1) 会計学特別研究のうち1科目を専修科目として必ず修得しなければならない。
- 2) 博士の学位を取得しようとする者は、本学大学院の博士後期課程に3年以上在学し、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、修業年限に関しては、特に優れた研究実績をあげた者に限り、博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

〔幼児保育学専攻〕

(1) 授業科目表

- 1) 人間生活科学研究科幼児保育学専攻修士課程における授業科目と単位数は、次の通りとする（別表－1）。
- 2) 授業科目のうち、基礎科目は1年次に履修するが、基本科目は1年次および2年次に、実践科目は1・2年次に履修する。また、研究科目は、1年次から2年次にわたって履修する。

別表－1 教育課程及び担当教員

科目区分	授業科目の名称	単位数		専修免許		授業形態	担当者名
		必修	選択	幼稚園	小学校		
基礎科目	保育学研究	2		○		講義	飯田幸恵
	教育学研究		2	○	○	講義	田中秀佳
基本科目	保育内容方法研究		2	○		講義	飯田幸恵・長江美津子
	表現文化研究		2	○		講義	秋田 郁・塚本敏浩 久我アレキサンデル
	教育課程・方法研究		2	○	○	講義	田中秀佳
	子ども福祉学研究		2	○	○	講義	関谷みのぶ
	教育心理学研究		2	○	○	講義	多川則子・楯 誠
	発達心理学研究		2	○	○	講義	多川則子
	カウンセリング研究		2	○	○	講義	家接哲次
	発達・教育評価研究		2	○	○	講義	家接哲次・楯 誠
	相談援助研究		2	○	○	講義	家接哲次
	障害児研究		2	○	○	講義	楯 誠
本科目	生徒指導研究		2		○	講義	家接哲次
	子ども精神医学研究		2	○	○	講義	吉川 徹
	教科教育法研究（国語）		2		○	講義	加藤 昇
	教科教育法研究（算数）		2		○	講義	東岡 博
	教科教育法研究（理科）		2		○	講義	日比野博
	教科教育法研究（社会）		2		○	講義	前原宏一
	教科教育法研究（図画工作）		2		○	講義	塚本敏浩
	教科教育法研究（音楽）		2		○	講義	秋田 郁
	教科教育法研究（体育）		2		○	講義	久我アレキサンデル

科目区分	授業科目の名称	単位数		専修免許		授業形態	担当者名
		必修	選択	幼稚園	小学校		
実践科目	臨床事例研究		2	○	○	演習	家接哲次・楯 誠
	保育学フィールド研究		2	○		実験・実習	多川則子・飯田幸恵 関谷みのぶ
	小学校実践研究		2		○		田中秀佳・塚本敏浩
研究科目	幼児保育学特別研究	8				演習	家接哲次・楯 誠 多川則子・関谷みのぶ

3) 講義及び演習は、15時間から30時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって1単位とする。また、実験・実習及び実技は、30時間から45時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 履修方法

1) 修士課程の修了の要件は、原則として2年以上在学して、別表-2の修了要件に伴い、必修及び選択科目を合わせて30単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。

別表-2 修了要件及び履修方法

修了要件		必修	選択	修了に必要な単位	備考
	基礎科目	2	-	2単位	
基本科目	-	18	18単位以上		
実践科目	-	2	2単位	3科目から1科目を選択必修	
研究科目	8	-	8単位		
合計	10	20	30単位以上		
履修方法	修了のためには、上記教育課程の授業科目から修了要件に従い、必修及び選択科目を合わせて30単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。				

〔栄養管理学専攻〕

(1) 授業科目表

- 1) 人間生活科学研究科栄養管理学専攻修士課程における授業科目と単位数は、次の通りとする（別表－1）。
- 2) 授業科目のうち、基礎科目は1年次に履修するが、基本科目は1年次および2年次に、実践科目は1・2年次に履修する。また、研究科目は、1年次から2年次にわたって履修する。

別表－1 教育課程及び担当教員

科目区分	授業科目名	授業形態	科目担当者名	単位数	
				必修	選択
基礎科目	栄養管理研究	講義	荒川和幸, 岸上明生, 倉橋伸子, 柴田 清, 太田和徳, 庄司吏香, 東條 正, 夏目有紀枝, 早川麻理子, 山田貴史, 近藤 文, 梶浦 茜	2	
基本科目	公衆衛生学研究	講義	柴田 清		2
	栄養生化学研究	講義	東條 正		2
	基礎医学研究	講義	黒川淳一		2
	臨床医学研究	講義	黒川淳一		2
	栄養生理学研究	講義	岸上明生		2
	食品機能研究	講義	太田和徳		2
	食品衛生研究	講義	山田貴史		2
	調理学研究	講義	庄司吏香		2
	栄養学研究	講義	夏目有紀枝		2
	栄養教育学研究	講義	倉橋伸子		2
	臨床栄養学研究	講義	早川麻理子		2
	公衆栄養学研究	講義	近藤 文		2
給食経営管理研究	講義	梶浦 茜		2	
実践科目	栄養管理実践研究	演習	倉橋伸子, 夏目有紀枝, 早川麻理子, 近藤 文, 梶浦 茜		2
	栄養管理実験研究	実験・実習	岸上明生, 柴田 清, 太田和徳, 東條 正, 山田貴史		2
研究科目	栄養管理特別研究	演習	岸上明生, 黒川淳一, 柴田 清, 太田和徳, 山田貴史, 近藤 文	8	
関する職に	食育実践特論	講義	倉橋伸子		2
	学校栄養教育特論	講義	倉橋伸子		2
	学校栄養教育論演習	講義	倉橋伸子		2

3) 講義及び演習は、15 時間から 30 時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって1 単位とする。また、実験・実習及び実技は、30 時間から 45 時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって1 単位とする。

(2) 履修方法

1) 修士課程の修了の要件は、原則として2 年以上在学して、別表－2 の修了要件に伴い、必修及び選択科目を合わせて30 単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。

別表－2 修了要件及び履修方法

修了要件		必修	選択	修了に必要な単位	備考
	基礎科目	2	－	2 単位	
基本科目	－	18	18 単位以上		
実践科目	－	2	2 単位	2 科目から1 科目を選択必修	
研究科目	8	－	8 単位		
合計	10	20	30 単位以上		
履修方法	修了のためには、上記教育課程の授業科目から修了要件に従い、必修及び選択科目を合わせて30 単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。				

2) 研究科目を担当する教員を「指導教員」とし、授業科目の選択、論文の作成、研究一般についての指導を受ける。なお、①各種提出物については、締め切りを守り提出すること。②特別研究(8 単位)は「デザイン発表会」・「中間発表会」・「論文/研究成果発表会」を含めて総合的に評価する。

3) 研究科目(栄養管理特別研究)は、別表－3(修士論文を履修・提出する場合)及び別表－4(課題研究を履修・提出する場合)のスケジュールにしたがって1 年次から2 年次にわたって進められる。